

（3） その他オンライン等を活用した市制施行30周年記念事業について

市民実行委員会プロジェクトチームでは、現在までメインイベントの内容等を中心に検討を行ってきたが、新型コロナウイルス感染症の収束に向けた今後の状況が不透明な中で、メインイベント以外に、オンライン等を活用したその他記念事業についても併せて検討したい。

案1 「みんなで踊ろう 新！袖ヶ浦音頭(仮)」

袖ヶ浦音頭（作詩：横井弘、作曲・編曲：細川潤一）は、袖ヶ浦小唄とともに昭和48年に作成され、昭和49年の町民会館（現在の市民会館）竣工式会場で、歌手の春日八郎さんを招き発表会を行いました。現在も、市内各地の盆踊り大会で踊られるなど、市民に親しまれている地域自慢の音頭です。

誕生から約50年を迎えた「袖ヶ浦音頭」を、市制施行30周年記念として現代風に編曲（アレンジ）を行い、新しく「新！袖ヶ浦音頭（仮）」として作成、市ホームページ等で音源を配信。配信された音源を活用し、各個人、家族、グループ等の単位で、自由に踊ってもらい、それを「#新袖ヶ浦音頭（仮）」等をつけて、各種SNS（Instagram、TikTok、YouTube）に投稿。各動画を実行委員会ですつなげて編集し、オンライン上でお披露目する。

案2 「そでがうら地域ブランディングCMコンテスト(仮)」

令和2年に策定した「そでがうらシティプロモーション戦略基本方針」では、「袖ヶ浦の地域ブランドの構築」を重点的に情報発信する分野の一つに掲げている。市制施行30周年を記念し、そでがうらの新たな地域ブランドを構築するための15秒～程度のCM（動画）を全国より公募する。審査を行った後、グランプリ作品には賞金、副賞の贈呈の他、動画サイトや市公式ホームページでの公開、メインイベントや記念式典等での放送を予定する。

案3 「」

※プロジェクトチームメンバーからの自由なアイデアを求めます！